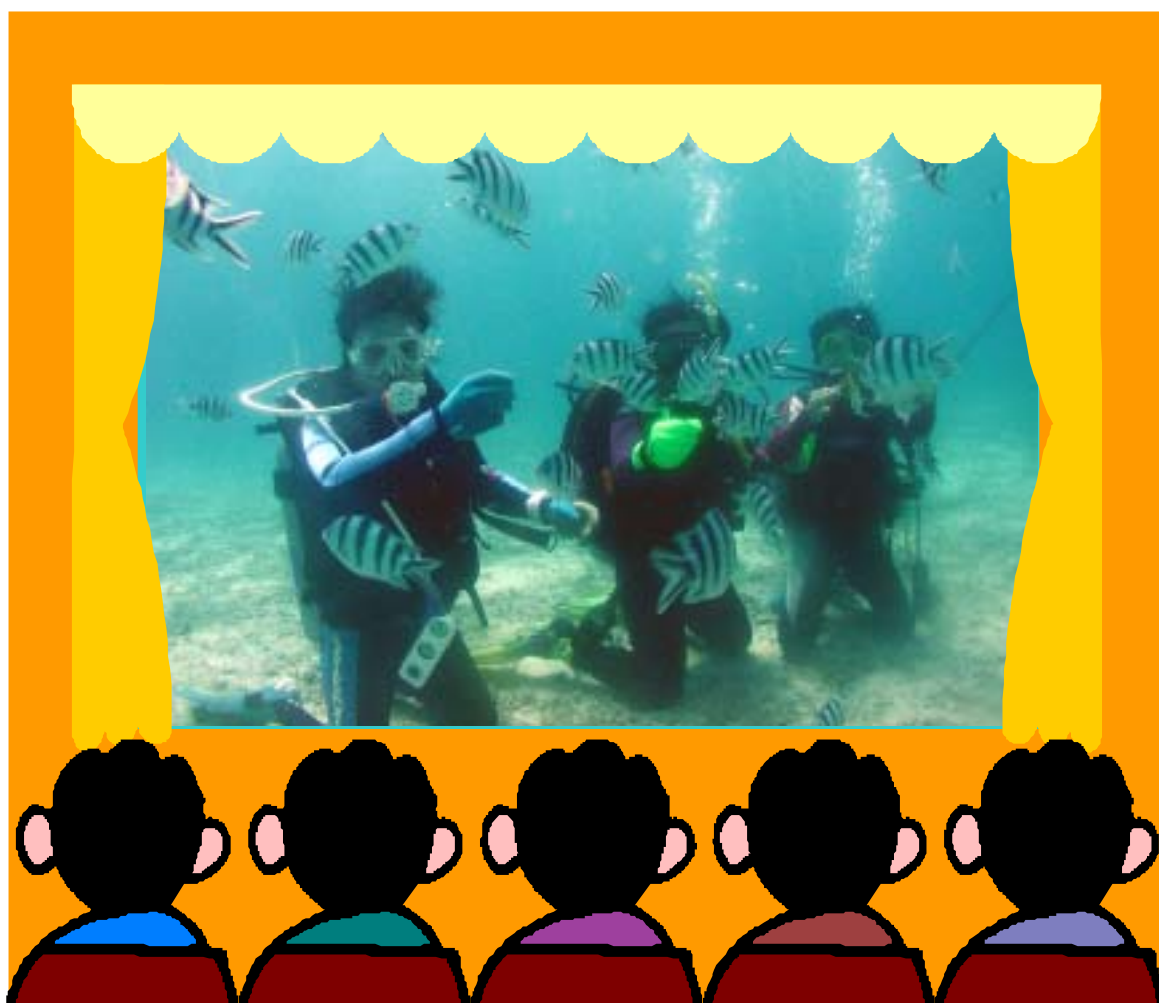


第5回バリアフリーダイビング全国大会 in OKINAWA 実施報告書

2002年6月20日(木)～6月23日(日)

# Be Oneself

～ 自然体で ～



主催：日本バリアフリーダイビング協会

## 目 次

1 .	役員あいさつ	
	会 長 山田眞佐喜 .....	1
	顧 問 後藤勝之 .....	2
	参 与 佐久間真一 .....	3
2 .	大会運営役員一覧 .....	4
3 .	大会スケジュール .....	5
4 .	参加者・ボランティア参加状況 .....	6
5 .	アンケート集計結果	
	参加者からのアンケート .....	8
	ボランティアからのアンケート .....	11
6 .	広報資料	
	新聞記事 .....	14
	報道 .....	16
7 .	会計報告 .....	17
8 .	後援・協力・協賛一覧 .....	18
9 .	協会役員一覧 .....	22
10 .	次回大会課題・告知 .....	23
11 .	大会スナップ .....	24

# 1. 役員あいさつ

## 「第5回バリアフリーダイビング全国大会」終了のご報告

皆様には、ますますのご清祥のこととお慶び申し上げます。

「第5回バリアフリーダイビング全国大会」は、「Be Oneself」～自然体で～、のテーマのもと、沖縄県恩納村の青い海を舞台に、ゲストをはじめ、全ての皆様がおおいに楽しみ、仲間との親睦を深めました事は、テーマを十分に全うしたイベントだった事を確信できる大会となりました。

本大会の特徴は、老若男女、障害者も健常者も、共に自然体で活動しようという事で、「ノーマライゼーション」を意識した大会でした。

オリエンテーションは、ボランティアの皆さんとは別に、ゲストの皆さん方には、前年度の大会ビデオを見て、心の準備をして本番に入っていただき、緊張感がほぐれてリラックスできたようです。

又、前大会と比較して、指導者並びに医療スタッフのご協力に恵まれまして、運営がことのほかスムーズに運びました。

器材面におきましては、レギュレーターのマウスピースを、しっかりくわえきれない方には、フルフェイスマスクを利用していただき、安全にダイビングする事ができました。これら器材のバリアフリー化は、わずかではありますが進歩しつつあり嬉しい限りでございます。

交流会は、大会随一の「全員が開放され、おおいに親睦を深めるイベント」です。例年のごとく、盛り上がり、特に「伊是名尚円太鼓」のリズムには、しびれてしまいました。

いずれに致しましても、無事に終了できました事は、共催者となって活動していただいた、国立沖縄青年の家をはじめ、ゲスト及びボランティアの皆様、関係各位の皆様、そして、ご後援ご協力をいただきました皆様方の賜物でございます。深く感謝申し上げます。

2003年度におきましては「第6回全国大会」をはじめ、各地方大会、又、各種イベント等にも同様のご支援をいただきますように、お願い申し上げまして「第5回バリアフリーダイビング全国大会」のご報告とさせていただきます。

日本バリアフリーダイビング協会  
会長 山田 眞佐喜



## 「バリアフリーダイビング全国大会」で思う事

「第5回バリアフリーダイビング全国大会」が安全に、楽しく無事終了しましたことをイベント安全対策委員長としてまずもってお礼申し上げます。

私の師匠でもありません前任の笠原より受け継ぎ、イベント対策委員長としてお手伝いをさせていただいて2回目の大会が終了したわけではありますが、2回目にしてどうにか、こうにか、参加者のお手伝い、そしてボランティアの方、役員の方達の仕事を理解出来始めてきた大会であったように思います。

去年は、考えるまもなく気が付いたら大会終了であったような気がしますが、今大会は皆さんと一緒にこの大会を楽しめたように思います。

私としては、この楽しめたことが安全に参加者の方、ボランティアの方、スタッフの方それぞれが安全に対しての意識と、役割をしっかりともっていただいているからだと思っています。

次回大会も皆様が、安全に対しての意識と役割をもてるよう配慮した大会を役員の皆様のお手伝いをしながら行なっていきたいと思っています。

最後になりますが、ご協力を頂きました皆様方に本当に有難うございました。来年、また沖縄で皆様にお会いできることをお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

日本バリアフリーダイビング協会  
イベント安全管理対策委員長 後藤 勝之



～バックアップ・コンサート～を開催しました！

「第5回バリアフリーダイビング全国大会」を応援

「ハイサイ グスーヨー チュー ウガナビラ！」(皆様 こんにちは！)  
今大会での交流会で、ウチナー（沖縄）のオバア（おばあちゃん）で登場いたしました。  
<ちょっとオバア>こと<サクちゃん>でございます。皆様、その後お変わりございませんか？

今大会を記念して6月21日（水）那覇市パレット市民劇場で、第5回バリアフリーダイビング全国大会を応援すべく、バックアップコンサートを開催させていただきました。

本業のイベント企画・運営、また司会という立場からこの大会を応援したいという気持ちで、日本バリアフリーダイビング協会沖縄支局長 / 名嘉一郎氏と二人三脚で取り組みました。

準備を進める中、一人また一人と応援・協力の輪が広がって行き、結果、約300名の動員を見る事が出来ました。

そして、コンサート終了後、応援いただいた方々と日本バリアフリーダイビング協会事務局にて、寄付金の授与式をさせていただきました。一人の百歩より、百人の一步が大成功につながりました。

次回もまた、オバアで登場いたします。そのときはヨロシク イタシクウニゲー サビラ！



「ちょっとオバア」



日本バリアフリーダイビング協会  
大会広報委員長 佐久間 真一



コンサート風景



寄付金授与式の様子

## 2. 大会運営役員一覧

### 役員

運営委員長	会 長	山 田 眞 佐 喜			
実行委員長・総務		屋 良 洋 子			
経理		山 田 工 子			
進行		鈴 木 直 子			
記録	沖縄支局長	名 嘉 一 郎	小 野 明 美		
会場設営		志 岐 英 男	大 浜 賢 一		
送迎・運搬		宮 里 一 男			
受付・備品管理		高 尾 清 子	井 上 浩		
医療・全般・救急・救護		伊 藤 博 明	真 栄 田 篤 彦		
宴会・食事・会計		山 田 工 子			
撮影		佐 藤 愛 子	吉 田 正 道		
マスコミ対応		佐 久 間 真 一			
安全管理対策委員長	顧 問	後 藤 勝 之 則			
海洋実施・器材管理		廣 瀬 勝 則			
船管理		山 田 幸 村			

### 指導員

障害の特徴と対応

伊良波 知子

トランスファー及びリフティング指導  
特別上級障害者スポーツ指導員

宮 里 一 男

J B D A 認定指導員

屋 良 洋 子	廣 瀬 勝 則
鈴 木 直 子	山 田 幸 村
新 井 雅 人	五 味 高 広
茅 野 孝 子	清 水 伸 一
山 中 勝 志	矢 中 培 雄
錦 織 秀 治	宮 崎 恵 美 子
中 村 政 昭	

インストラクター

金 成 局	クロフォードアスカ
伊 関 亜 里 砂	北 田 宏 樹
小 森 利 昭	高 木 真 有 美 子
野 口 貴 裕	佐 方 美 子

ボートキャプテン


ステイドリーム号	山 田 幸 村
グ ラ ン ド号	平 良 誠 和 利
シーフォックス号	江 澤 長 利 也
アルパトロス号	小 渡 幸 也
ア ヤ カ号	荻 堂 竜 治
ゆいまーる号	大 城 政 幸
かりゆし号	大 新 里 勝 好
	新 垣 勉 好

### 3. 大会スケジュール


TIME	6月20日(木)	6月21日(金)	6月22日(土)	6月23日(日)
6:00		ボランティア・スタッフ 会場入り・準備	ボランティア・スタッフ 会場入り・準備	
7:00	ゲスト参加者 ボランティア参加者 各空港に集合 沖縄へ向けて出発	朝食	朝食	朝食
8:00		食事前後順次 メディカルチェック	食事前後順次 メディカルチェック	延泊者 オプション ダイブ出発
9:00				帰路準備
10:00	地元ボランティア 送迎準備	A・B 海洋 1	A・B 海洋 3	
11:00	全参加者空港到着 会場まで順次送迎	C プール 講習	C 海洋 2	
12:00		昼食	昼食	チェックアウト 空港へ移動 空港でフリー
13:00	受付開始			
14:00		A・B 海洋 2	A 海洋 4	
15:00	15:00～ ゲスト説明会 ボランティア説明会	C 海洋 1	B・C マリン スポーツ	15:00 前後 各空港へ向け 出発
16:00		開いている時間を使って、 オプションのパラセイリングを 実施します！（時間指定）		
17:00	17:30～ 開会式 基調講演 オリエンテーション welcome ディナー			各空港へ到着
18:00				スタッフ 反省会
19:00		19:00～ 夕食	19:30～ 閉会式 交流会パーティ	
20:00	解散 リーダーミーティング	リーダーミーティング	リーダーミーティング	
21:00				

気象状況や海況により、スケジュール、場所が変更又は中止される場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

**SKI BISCUIT (スキースケット)**  
マリンスポーツは初めてだけれど、スピード感はしっかり楽しみたい方にお勧め。  
カーブを曲がるときの遠心力で海面をピュンピュンはねるのが、スリリングで楽しいと評判です。特に、足をそろえた状態で座るので安心して楽しめます。




**JET SKI (ジェットスキー)**  
マリンスポーツの定番中の定番。水しぶきを上げながら進むバイクは、日頃のストレスを吹き飛ばしてくれる格別の爽快感です。




**マリンスポーツ  
インフォメーション**

**ROCKET BOAT (ロケットボート)**  
飛び交う水しぶきと歓声の連続。スリル万点の海の上のジェットコースター。仲間と一緒にわいわい楽しみたい方にお勧め！



**PARASAILING (パラセイリング)**  
オプションコース (¥7,350 税込み)  
360度の青いパノラマが広がる！  
空中にふわっと浮かんだ時のあの感激は多分一生忘れられない思い出になることでしょう。港から、モーターボートで海へ出て、スピードと風を利用して空へあがります。1人では心配な方は、2名乗りも有りますので、ボランティアと一緒に安全にチャレンジできます。



## 4. 参加者・ボランティア参加状況

### 参加者障害別統計(重複者有り)

総参加者人数 37名(内訳男性 15名・女性 22名)

障害区分	年齢別・性別(人数)		備考
視覚障害	50代男性	2	網膜剥離、無水晶体眼、弱視、水平眼振、網膜色素変性症、等
	女性	2	
聴覚障害	10代女性	1	
	30代男性	1	
四肢障害			
(脊・頸損傷)	30代男性	1	1 四肢麻痺
(脳性麻痺)	20代男性	1	6 両上・下肢機能障害、等
	女性	1	
	30代男性	1	
	女性	2	
(脊髄・脳障害)	40代男性	1	6 脳出血後後遺症、片麻痺、ポリオ、脊髄性小児麻痺、等
	50代男性	1	
	女性	3	
(その他)	60代男性	1	11 先天性股関節脱臼、三肢切断、奇形、上腕欠損、下肢切断、慢性関節リュウマチ、二分脊髄、変形性股関節症、側わん症、筋ジストロフィー、等
	30代女性	1	
	50代男性	1	
	女性	2	
	60代女性	1	
内部障害	70代女性	4	2 心臓障害、言語障害
	80代男性	2	
健常者	50代女性	1	5 高齢者、障害者の付き添い 等
	60代男性	1	
	70代男性	1	
	女性	2	

### ボランティア・スタッフ統計 (名)

10代	男性	0	0
	女性	0	
20代	男性	7	27
	女性	20	
30代	男性	28	54
	女性	26	
40代	男性	20	30
	女性	10	
50代	男性	6	7
	女性	1	
60代	男性	3	5
	女性	2	

総ボランティア参加者人数 123名

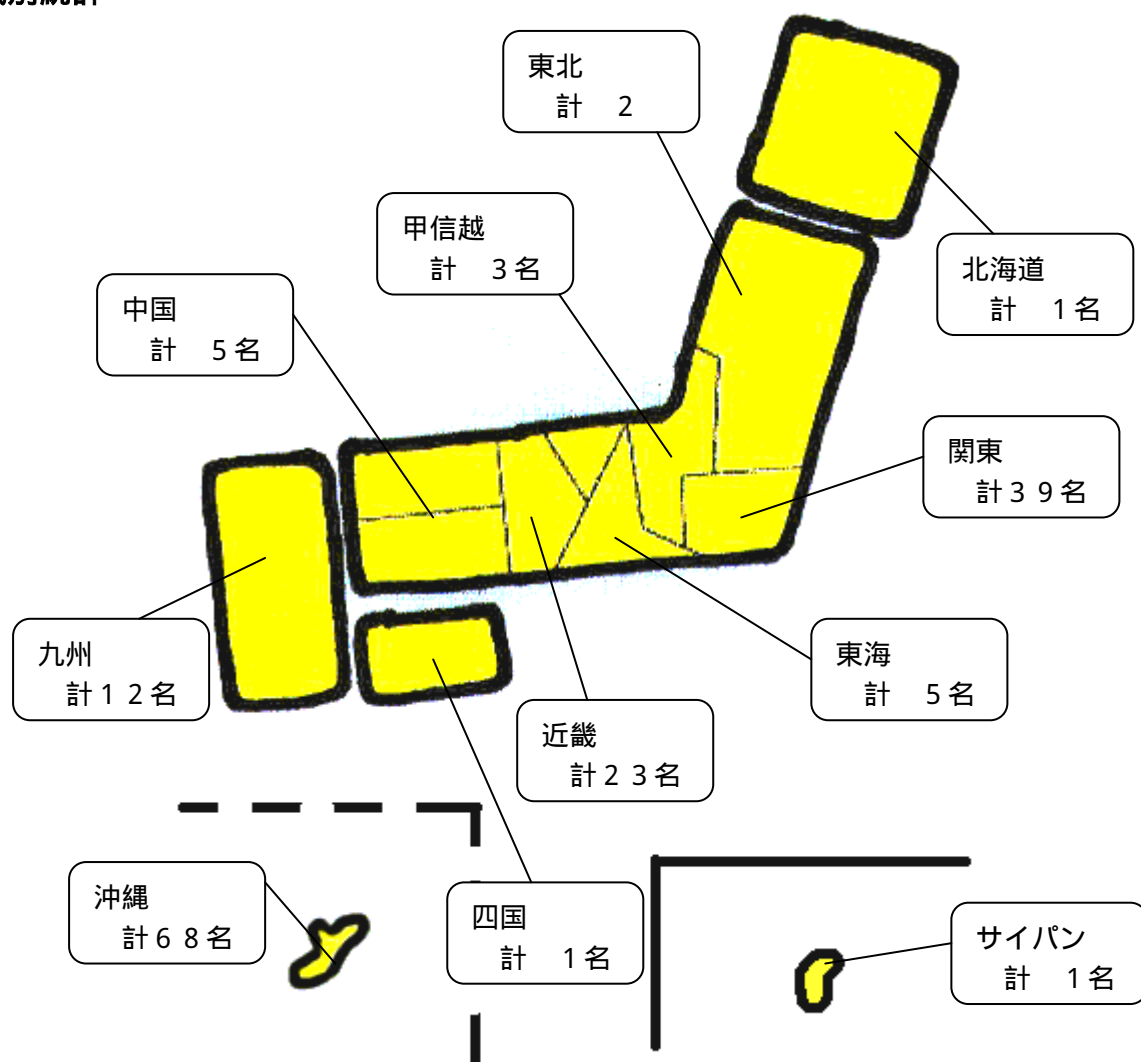
内訳1 > 男性 64名  
女性 59名

内訳2 > 健常者 119名  
障害者 4名  
(聴覚障害・四肢障害・内部障害)

内訳3 > ボランティア 82名  
スタッフ 41名



## 地域別統計



(名)

地域	参加者数	ボランティア数	都道府県名
北海道	0	1	北海道
東北	2	0	岩手・福島
関東	7	32	埼玉・東京・神奈川・千葉
甲信越	0	3	長野・山梨
東海	2	3	愛知・静岡
近畿	18	5	京都・大阪・兵庫・和歌山
中国	1	4	岡山・広島・山口
四国	1	0	高知
九州	4	8	福岡・長崎・大分
沖縄	2	66	沖縄(離島を含む)
海外	0	1	サイパン
合計	37	123	総合計 160名

## 5. アンケート集計結果

### 参加者の皆様から頂いたアンケート集計結果

参加者総数 37名

回答数 19件 回答率 51%

Q1. 今回の大会は何によって知りましたか？（回答数の多い順に記載。以下同様）

協会からのお知らせ	50%
知人から	44%
その他	5%

Q2. 今回の全国大会に参加された動機は？

以前も参加したので	33%
ダイビングをしたかった	26%
友人・知人から誘われて	10%
沖縄の海に再度潜りたかった	10%
その他	21%

- ・ いろんなマリンスポーツを体験したかった。
- ・ 沖縄へ行った事がなかった。

Q3. ダイビングについて

ダイビング器材をつけて「海に入る」時は、どんな気分でしたか？

不安・恐怖	33%
嬉しかった	25%
緊張した	16%
その他	3%
未回答	23%

- ・ 耳ぬきが上手くできるかどうか不安でした。
- ・ 「さぁ～やってみよう」という意気込みと、恐さもあった。

実際に海に潜った時の感想をお聞かせ下さい。

美しい・感動	40%
嬉しい・楽しい	35%
新しい世界を見た	10%
落ち着いてゆったりした気持ちになった	8%
その他	3%
未回答	4%

- ・ 去年より海の透明度が悪く、魚群も少なかった。
- ・ プールの練習と違ってビックリ、魚たちに会えて楽しかった。

ダイビングを行った後、考え方や気持ち等の変化はありましたか？

前向きになった	46%
楽しくなった	10%
特に変化なし	15%
自然に対する考え方が変わった	10%
その他	10%
未回答	9%

- ・ チャレンジすれば道は開けると実感した。
- ・ 地上にいる生活の中で、海中の世界も知るべきだと思う。

**\* ファンダイビングの方にお伺いします。**

今回のポイントはいかがでしたか。

前回と違うポイントで楽しかった	40%
透明度が悪くて残念	40%
洞窟が素晴らしかった	20%

今回のダイビングスケジュールはどうでしたか。

たいへん良かった	50%
あわただしかった	16%
1日3ダイブしたかった	10%
まあまあ	8%
その他	16%

チーム分けはどうでしたか。

小人数でまとまりが良かった	66%
小人数で安心した	16%
その他	18%

Q 5. 今後のダイビングについてお聞かせ下さい。

**\* 体験ダイビングの方**

講習を受けてみたい	18%
特に資格はいらない	16%
どちらともいえない	66%

・ 沖縄本島だけでなく、離島など場所をかえて企画してほしい。

**\* Cカード所持の方**

今後も続けたい	35%
バディの役割について説明不足	15%
未回答	50%

Q 6. 今回の大会に参加して良かった事と悪かった事を教えて下さい。(複数回答)

**良かった事**

出会い	35%
マリンスポーツを満喫(ダイブ含む)	28%
皆さんの協力がよく安心できた	21%
リゾートホテルで過ごしやすかった	7%
その他	9%

- ・ 1グループ 1隻で海にでることができた。
- ・ 息子のような青年達に「お母さん」と呼んでもらった。

## 悪かった事

各コース時間配分の改善	37%
施設内の不満	25%
ボランティアとの交流時間が短い	12%
その他	26%

- ・開脚ができず、マリンスポーツがあまりできなかった。
- ・ハードスケジュールで障害者の取り組みとしては考えてほしい。

## 全体を通して

大勢のボランティアの方に感謝	37%
もっと多くの他府県からの参加を望む	25%
交流会など騒がしかった	20%
その他	18%

- ・もっと海洋を増やして欲しい。
- ・大勢の人と知り合え、いい思い出になりました。

## Q7.ボランティアの方への御意見

- ・皆様に支えられて、とても感動的な日々を過ごす事ができました。感謝しています。
- ・大変熱心に、かつ親切にして下さってとても嬉しかった。
- ・経験の浅い方も、豊富な方も、心を込めて任務にあたっていました。
- ・人の温かさがもらえて頭が下がるばかりです。
- ・皆様とても気心の優しい人で楽しく過ごせたことを感謝します。

## Q8.協会事務局への方の御意見・その他

- ・事前資料や名札も視覚障害者への配慮をして欲しい。
- ・ゲスト・ボランティア説明会、開会式、オリエンテーション、各チーム分科会・・・朝早くから起きて、ましてや皆それぞれ身体の不自由な方々ばかりなので、もう少しこの辺の配慮をお願いします。
- ・静かな所でチームごとに集合し、連絡事項やその他の話し合いを持った方が良かったと思います。
- ・初参加の人に対してもう少し考えてほしい。
- ・交流会で注意が必要に思います。
- ・初参加ですが以前からの知り合いの様に和気藹々にして下さって嬉しかったです。

## ボランティアの皆様から頂いたアンケート集計結果

参加者総数	82名		
回答数	17件	回答率	21%

Q1. 今回の大会は何によって知りましたか？（回答数の多い順に記載。以下同様）

協会からのお知らせ	50%
知人	37%
新聞	6%
その他	7%

Q2. コース・日程について

出発時間帯についてお聞かせ下さい

ちょうど良い	68%
早かった	31%
未回答（現地ボランティア等）	1%

大会期間中のホテルについてお聞かせ下さい

快適・良かった	55%
改善が必要	30%
まあまあ良かった	11%
特に無し	4%

- ・ マリンスポーツを主眼とするなら小さなホテルでも良いのでは。
- ・ ドアストッパーがなかったので、部屋の出入りに苦労した。
- ・ 急設置のスロープが狭く、傾斜が急で大変でした。

大会期間中の食事についてお聞かせ下さい

良かった	54%
食事の場所、内容の不満	30%
チーム全員で昼食をとれた	12%
特に無し・未回答	4%

- ・ 2日目、ホテル以外で食事ができたらいいと思う。
- ・ 昼は時間がないので、バイキングでなく弁当でもいい。
- ・ 和食はおかず毎に小鉢に分けてあったので、視覚障害の方に説明し易かった。

今回のコース日程についてお聞かせ下さい

時間配分の改善（過密すぎ）	42%
障害の程度別にプランを変えて欲しい	13%
まあまあ良かった	10%
ちょうど梅雨明けで時期が良い	8%
特に無し・未回答	27%

- ・ 宿泊がホテル以外の方は空いた時間の過ごし方に困ったと思うが、ゲストの方は休む時間があって良かった。
- ・ 昼食後すぐ予定があるのはどうかと思う。

今回のグループ編成についてお聞かせ下さい（参加者対ボランティアの人数等）

良い	50%
障害別の人数配分をしてほしい	12%

ボランティアが足りない	9%
障害のバランスが悪い	4%
特に無し・未回答	25%

- ・ 器材などの準備、参加者の介助と分かれて動くことができたので去年に比べて余裕があった。
- ・ 車椅子で全介助のゲストには3人部屋にした方が安全で、ゲスト、ボランティア共にストレスが無いと思う。

Q 4.大会の参加費用についてお聞かせ下さい

妥当である	93%
高い	6%
未回答	1%

- ・ 普通の旅行と比べると決して安くはないと思う。
- ・ もう少し参加費が安ければ、参加する人も増えると思う。

Q 5.報道関係が多く来ていましたが、この件についてお聞かせ下さい

良い事である	56%
活動の妨げになっていた	33%
特に無し・未回答	11%

- ・ 新聞に大会記事が載ったのを見て、ゲストの方たちがとても喜んでいました。
- ・ 多くの人に認知してもらう為にどんどん報道すべき。
- ・ 少し強引なところがあったように思う。

Q 6.今回の大会に参加して良かった事と悪かった事を教えて下さい。

**良かった事**

- ・ 視覚障害のサポートについてゲストの方から細かく教えて頂いたので次回のサポートにも活かしたい。
- ・ ゲストの方が「楽しかった」と言ってくれたのがなにより嬉しかった。
- ・ 昨年と同じ会場なため、勝手が分かり易いので対応がスムーズ。
- ・ 車椅子での移動を手伝うのは初めての経験でしたが、大変さが良く分かった。慣れない人に押される当事者の不安はどうだったのか気になる。
- ・ リーダーの指示の出し方が良く、動き易かった。
- ・ 当初陸のみのサポートの予定だったけど、突然ダイビングすることになってビックリしたけどダイビングできて良かった。ゲストと喜びを共有することができた。
- ・ ダイビングのサポート方法を学ぶ事が出来た。
- ・ ゲスト、スタッフの方々と新たな出会いや学ぶ事があった。

**悪かった事**

- ・ 全ての食事をホテル内ですませなければならなかったのが、少し飽きてしまった。
- ・ 初めての参加で流れが良くつかめず、動きが鈍かった。
- ・ ひとつのチームは、できることなら男女比を同じ位にしてほしい。
- ・ 自らのダイビングに対する認識の甘さを痛感し、又、安全管理に大きな不安を感じた。
- ・ 自由時間に、他の人達とフリーに付き合える、ラウンジのような場所が欲しかった。
- ・ 車椅子について紙面や口頭での説明だけでなく、実習が必要だと思う。
- ・ 予定が詰まり過ぎ、もっと余裕がほしい。
- ・ 一部の人に負担が多く、皆で協力してもっとスタッフとも楽しみたい。
- ・ 何度か参加しているので、自分の中で少し緊張感に欠けた部分があったように思う。
- ・ リピーターの比率が少し多すぎる気がする。もっと多くの障害者に参加してほしい。

- ・ チームリーダーからの具体的なアドバイスが少なすぎる。
- ・ 安全面に対して実技指導・支援が不十分。

#### 全体を通して

- ・ 良い経験をさせてもらった。
- ・ 無事に終わって良かった。
- ・ いろんな障害の方が集まっているので、各々のサポートの仕方等を見て勉強になった。
- ・ 各ボートにドクターが乗っていたのは良かった。
- ・ いろんな障害について理解を深め、自らすすんでたくさんの人に接することが出来たらと思う。
- ・ リーダーによって上手く回るチーム、回らないチームがあった様に思う。ボランティアが動き易いよう、もう少し指示を出してくれればよりスムーズに出来る気がする。
- ・ それぞれの仕事がどこまでなのか、何をしなければいけないのか。また、それをする能力を持っているのか。特にFUNダイブのボランティアは危険が伴う。リーダーのミーティングでその人のボランティアで大丈夫なのか話しはしているのか。
- ・ 大会のタイムスケジュール、チーム分け等、回を重ねる毎に良くなっているようだ。
- ・ スタッフ、ボランティア参加経験がある人が多いのでサポートがスムーズに出来ているように思う。
- ・ 初日のチームとしての打ち合わせはとても有意義。ゲストの不安や要望を聞き、それに対してボランティアがどうサポートするか回答、話し合えたのは良かった。

Q 7. 今後の協会の催しや来年度の全国大会に参加していただけますか？

はい	65%
いいえ	5%
未回答	30%

Q 8. サポートダイバー以外の方にお伺いいたします。

当協会では障害者の方のダイビングをお手伝いして頂くサポートダイバーの育成も行ってありますが、サポートダイバーに関して興味を持って頂けたでしょうか？

はい	81%
いいえ	0%
未回答	19%

Q 9. 協会事務局への御意見・その他

- ・ 進行予定表をまとめ来年以降の資料にしたら良いと思う。
- ・ 初参加の人に対して配慮がもう少しほしかった。
- ・ ダイビングの安全管理に疑問が残った。
- ・ 来年も参加したい。
- ・ 手話の日常会話が出来ようになりたい。
- ・ 小さい規模でもよいので色々な所でこのような大会があればいいなと思いました。
- ・ 楽しかった。
- ・ マリンスポーツの安全管理に疑問を感じた。

**ゲスト及びボランティアの皆様、  
貴重な御意見たいへんありがとうございました。**

## 6. 広報資料

新聞記事

2002.06.21 (金) 琉球新報 「プールに笑顔広がる」

ボランティアと障害者、高齢者が共にマリンスポーツを楽しんだ—  
21日午前、恩納村のサンマリーナホテル



### 「気持ちいい〜」

# プールに笑顔広がる

## ボランティア全国から53人

恩納村

【恩納】障害者と健常者がスクューバダイビングなどマリンスポーツを体験し、笑顔が広がった。今年のは全国からボランティアなど五十三人のゲスト、百十五人のボランティアが参加した。

今年、大自然の中で

ありのままの自分を出し、目に開会式が行われ、こころから実態に入った。プールでは、ボランティアに助けられながら少しづつ水に慣れ、「気持ちいい」と笑顔を見せる

初心者も、四回目の参加となる京都の宮崎なつえさんをはじめ「毎回京都から来るメンバーも増えている。沖縄の海でサンゴや魚を見たり、若いボランティアの人たちと友達になれるのがいつも楽しいです」と笑顔を見せていた。

二十二日夜には閉会式と交流会が行われる。





## ダイビングに 障害者も挑戦

恩納村で全国大会

【恩納】第五回バリアフリーダイビング全国大会(主催・日本バリアフリーダイビング協会)が二十日から、恩納村富着のサンマリーナホテルでウエットスーツを着けてプールでの潜水に挑戦する参加者＝恩納村富着・サンマリーナホテル

始まっている。障害者や高齢者、ボランティアら百六十八人が参加、二三日までの日程でダイビングを楽しむ。

二十一日午前はホテルのプールでスキューバを仮体験。京都の岩本ミヨさん(さ)は「海に入るのは(生涯を通して)初めて、こんなにうれしいことはない」と興奮気味。

同協会参与でボランティアを務める佐久間真一さんは「健常者と障害者には、互いにバリアフリーに対する思いに傾きがあるが、触れ合いを通して気持ちが変わるだろう」と話していた。

2002.06.22 (土) 毎日新聞 (全国大会記事)

障害がある人にもスキューバダイビングの楽しさを知ってほしいと、沖縄県恩納(おんな)村の海岸で20日~22日、バリアフリーダイビング全国大会があった。

那覇市にある日本バリアフリーダイビング協会が主催(毎日新聞社など後援)



両手を振る岩本ミヨさん！！

今年5回目。梅雨明けの青空の下で、障害者や高齢者、ボランティアら計約160人が参加。

障害者らはボランティアに手を引かれ、海中散歩を楽しんだ。

京都府の岩本ミヨさん(72歳)は水泳をしている仲間に誘われて初参加。色とりどりの魚やヒトデを見て「素晴らしいの一言。感動しました」と海中の世界にうっとり。

上記写真は毎日新聞に掲載された物とは異なります。

## 報道

2002.06.19 (水) 13:35~  
琉球放送ラジオ局 ラジオ放送部 < Iラジオ @BBS >

2002.06  
OCN(沖縄ケーブルネットワーク)3ch 20:00~20:30  
< 沖縄News Today >

2002.07.29 (月)  
琉球朝日放送 < ステーションQ >

## 7. 会計報告

### 第5回バリアフリーダイビング全国大会収支報告書

(平成14年6月20日 ~ 6月23日)

科 目		金 額	
	収入の部		
1	協賛金		1,445,000
2	旅費・宿泊費		8,471,460
3	海洋実習費		1,071,200
4	参加・交流会費		1,378,000
5	助成金		1,076,000
6	協会負担金		995,048
	収入合計(A)		14,436,708
	支出の部		
1	運営費		14,092,038
2	事業費		239,670
3	保険料		105,000
	支出合計(B)		14,436,708
	収支合計(A) - (B)		0

## 8 . 後援・協力・協賛一覧

### 後 援

厚生労働省	沖縄県	恩納村
財団法人 日本障害者スポーツ協会	社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会	
沖縄県身体障害者福祉協会	株式会社 イーエムピー・ジャパン	
社会福祉・医療事業団（障害者スポーツ支援基金）		
財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー		
財団法人 日本障害者リハビリテーション協会		
財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団		
沖縄タイムス社	琉球新報社	沖縄テレビ放送
琉球放送	琉球朝日放送	N H K 沖縄放送局
読売新聞社西部本社	毎日新聞那覇支局	日本経済新聞社
F M 沖縄	ラジオ沖縄	沖縄ケーブルテレビネットワーク

### 共 催

マリンプルーとかしき 国立沖縄青年の家

### 協賛・協力

J T B 沖縄

(株)沖縄ポッカコーポレーション

- ・さんぴん茶
- ・ウーロン茶



大塚製薬（株）

- ・ポカリスエット



(株)タバタ

- ・ダイビング用品



沖縄ツーリスト

ヘリオス酒造（株）

- ・泡盛



(株)マスク

- ・ダイビング用品



シムラコーポレーション（株）

- ・浄水グッズ



昇陽物産（株）

・ Tシャツ



那覇医師会

・ 救急セット

北部医師会

・ 酸素供給キッド

もとぶ野毛病院

・ 医師看護師派遣

西町クリニック

・ 医療資材

## 特別協力

第十一管区海上保安本部

## 広告協賛

沖縄銀行

クマス・ジェフ

湯島プラザホテル

J T B 沖縄

全日本潜水連盟

沖縄電力

沖縄自然薬草センター

西町クリニック

ライブイン寓話

居酒屋 ちゅらさん

プランニングドゥー

やえす歯科医院

(株)平良断熱防水工業

松川内科小児科医院

沖縄そば専門店 与那原家

医療法人城南会 松城クリニック

エムオーテック

味処 秀月

マリンハウスおきなわ

共和コンクリート工業株式会社

チームキャナビスダイビングサービス

サンマリーナホテル

ビジネスホテル マリンウエスト那覇

シムラコーポレーション(株)

医療法人 河野整形外科医院

寺西歯科医院

花 織

琉球サンロイヤルホテル

合資会社 協 和

(株)近代美術

(株)永和酒販

タタバザール

有限会社 狩野電気工事

ながた歯科医院

(有)ハンエイ

(株)サン食品

比嘉おかず店

## その他協賛

山城整形外科眼科医院	様	日本茶園有限会社	様
山田齒科	様	新垣クリニック	様
金井 彰	様	橋場 友彦	様
金井 一恵	様	斎藤 毅	様
大森 良雄	様	高尾 清子	様

## 地域の皆様

「第5回バリアフリーダイビング全国大会」バックアップ実行委員会主催  
バックアップコンサート ～ ぼくたちができること！ ～

司会： 佐久間 真一

出演者： ワンウィッシュ かでかるさとし 長嶺 良明  
ティダカンパニー 砂川 さとる 与那嶺 春樹

## 医療を支えて下さった皆様

国立療養所箱根病院	医師	伊藤 博明	様
西町クリニック	医師	真栄田 篤彦	様
もとぶ野毛病院	医師	山田 譲	様
	医師	出口 宝	様
	看護師	藤原 政信	様
	看護師	椿井 美夏	様
北部地区医師会病院	医師	大山 達也	様
	医師	小山 高明	様
沖縄リハビリテーション福祉学院		伊良波 知子	様
	看護師	本村 理香	様



## その他協力

マリンプアザオキナワ様のご協力で、  
バリアフリー対応型ヨット「ゆいまーる」、  
小型ヨット「アクセスディンキー」を使用させて  
いただきました。



## ご報告

基調講演といたしまして、パラリンピックを始め、多くの競技会で水泳選手として活躍しております成田真由美様をお迎えしておりましたが、一身上の都合により、残念な事に参加する事ができませんでしたが、皆様にお詫びと励ましのメッセージをいただきました。

皆様のご後援、ご協力、ご協賛、誠にありがとうございました。  
協会スタッフ一同、感謝申し上げます。

## 9. 協会役員一覧

### 役員名簿

<b>会 長</b>	山 田 眞佐喜	
<b>専 務 理 事</b>	宮 里 一 男	デイサービス泉 所長 特別上級身障者スポーツ指導員 沖縄県身体障害者スポーツ指導員連絡協議会 副会長
<b>理 事</b>	森 井 一 雄 本 武 久 幸 武 藤 潤 寺 西 真	日本海洋株式会社九州営業所所長 中央動物病院 院長 サンヨーシステム開発 代表 寺西歯科医院 院長
<b>沖縄支局長</b>	名 嘉 一 郎	(資)ドリームオンデジタル
<b>監 事</b>	波 平 常 雄	城間源哲税理士事務所

### 顧問・参与名簿

<b>名 譽 顧 問</b>	今 村 喜 六 藤 尾 幸 司 後 藤 勝 之 松 島 トモ子 富 田 拓 也 上 地 武 昭	市原京急カントリークラブ 顧問 我孫子東邦病院院長 J B D A イベント安全管理対策委員長 タレント 株式会社 拓商 代表 沖縄県身体障害者スポーツ指導員協議会 会長 沖縄大学人文学部福祉文化学科講師 沖縄県身体障害者スポーツ指導員協議会 事務局長
<b>参 与</b>	運 天 健 古 野 雅 彦 伊 藤 博 明 高 原 幸 恵 本 間 公 也 小 濱 哲 子 伊 良 波 知 子	協立病院 スポーツ医師 国立療養所箱根病院神経内科医師 東京都老人医療センター 歯科口腔外科医師 共和コンクリート工業株式会社役員 名桜大学教授 沖縄リハビリテーション学院理学療法学科 講師 介護支援専門員 日本体育協会公認アスレティックトレーナー 沖縄ジャズ協会 副会長 ジャズピアニスト 西町クリニック院長、(社)那覇医師会理事 有限会社 ナカムラ ピックフット 代表 株式会社 岩崎建興 代表 障害者スポーツ指導員
<b>推 進 委 員</b>	真 栄 田 篤 彦 大 橋 碩 男 岩 崎 賢 二 高 尾 清 子 市 川 徹 一 佐 久 間 真 一 河 野 一 郎 比 嘉 秀 則 田 端 充 朋 外 間 裕 祐 西 村 慎 洋 酒 井 正 人 水 谷 正 人 新 井 雅 人	中国電力株式会社 配電部 計画担当 副長 有限会社 スリーベアーズコーポレーション 代表 医療法人 河野整形外科医院 医院長 秀月代表 舞台監督 県職員 有限会社 山手工業 理学療法士
<b>協議会会長</b>	山 中 博	チームキャナピス代表(東京都) 関東事務局長 有限会社マリントック代表(鹿児島県)



## 10．次回大会課題・告知

### 次回大会に向けての課題

新規参加者への対応  
ダイビングポイントの開拓  
J B D A 指導員の教育の徹底  
安全対策の見直し  
コース設定の時間配分  
運営委員における活動内容の充実



日 程	2003 年 6 月中旬頃予定しております		
場 所	沖縄県内		
参加募集人数	ゲ ス ト	5 0 名	( 予 定 )
	ボ ラ ン テ ィ ア	1 0 0 名	( 予 定 )
募集要項発送予定	2003 年	1 月 末 日	予 定
募集締め切り予定	2003 年	3 月 末 日	予 定

皆様のご参加お待ちしております！！

# 11. 大会スナップ

空港到着



大会本部デスク



リーダーミーティング



ゲスト説明会



ボランティア説明会



開会式

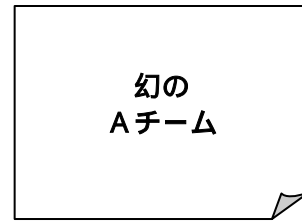


宣誓



オリエンテーション

Aチーム



Bチーム

Cチーム

Dチーム



Eチーム

Fチーム

Gチーム



Hチーム

Iチーム

Jチーム



事務局チーム

ウェルカムディナー



メディカルチェック



体験プール実習



体験海洋実習



ファンダイビング



マリンスポーツ



閉会式&交流会







JAPAN BARRIER FREE DIVING ASSOCIATION

日本バリアフリーダイビング協会

事務局

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎 1-15-2  
TEL: 098-869-4957 / FAX: 098-867-4034

ホームページ

<http://www.ryukyu.ne.jp/~jbda/>

Eメールアドレス

[jbda@ryukyu.ne.jp](mailto:jbda@ryukyu.ne.jp)